

2019年度 第2回幹事会議事録

日時：2020年1月27日(月)

場所：JXTG ホールディングス 六本木クラブ

出席者(敬称略)：町田、永田、土居、長谷川、松村、真壁、齋藤、恒川、品田、生方、内藤
竹内、玉井、奥本、俵、古川、腰高、青木、杉浦、荒木、山田、徳永 (22名)

【報告/審議事項】

1. 現役優勝お祝い金、慰労金について (町田会長)

- ・34年ぶりに現役が連盟戦で優勝したので、OB会計から今回限りで、現役に優勝祝い(現金10万円)を贈呈、10年以上現役担当を務めている青木さんへも慰労金を贈呈する。
⇒ 後ほど2019年決算案の一部にて承認。

2. 会長辞任について (町田会長)

- ・町田会長より、OB会会長を退きたい旨の報告があった。
- ・後任選定は、選考プロジェクト(チーム)を組んで、彼らに一任する。

【審議事項】

1. 前出報告を受け、次期会長・副会長の任命について (次期会長推薦プロジェクトチーム<PT>)

- ・PTの松村さんから、経緯説明
- ・PTメンバーは鈴木(4)、松村(8)、恒川(10)、相澤(21)、腰高(23)、杉浦(26)、荒木(33)、松尾(45)
- ・会長、副会長の任務を定義、また任期については他の役員も含め再任を妨げない「1年」とする。
- ・議論の上、PTとして、10期・恒川さんを新会長として推薦
- ・新副会長には17期・神島さんと21期・相澤さんを推薦
⇒ 満場一致で承認、総会に諮ることとなった。

2. 規約変更、役員体制について (腰高さん)

- ・規約(OB会会則)の「Ⅲ. 役員」の項、変更
→ 監査役に関する規定を追加
→ 会長、副会長の選任方式について定義
会長；現会長の指名する「次期会長推薦プロジェクトチーム(原則として現会長を含む)」の推薦に基づき、
幹事会・総会で承認された者
副会長；会員からの提案に基づき会長の推薦により、幹事会・総会で承認された者
→ 会長、副会長等に限らず、全ての役員の任期を1年とする。但し再任は妨げない。
(つまり、毎年、毎年の定時総会にて、全役員の改選を承認することになる)
→ 役員の任務欄に、会長、副会長の任務を明記
会長；当OB会を代表する立場で、内外のイベント等への参加・交遊・挨拶・交渉などを行うものとする。
副会長；会長を補佐するものとする。
- ・新役員体制について
→ 会長、副会長は前出の通り。
→ 事務局体制を再編、幹事会議長に杉浦(26)、空席だった事務局長に腰高(23)、あわせて若返りを企図し、

50 期代から新たに 2 名、山田(52)=会計/会報、徳永(54)=総務/現役
→15 期の鈴木さん、ご逝去にともない SO 役員名簿から外れる
⇒OB 会会則の変更、新役員体制とも、承認され、総会に諮ることとなった。

【報告事項】

1. 本日幹事会出欠状況について（腰高さん）
 - ・OB は 58 期まで、出欠の回答は 46 期分（79%）、出席は 20 期分（34%の出席率）
2. 現役について、就職活動など含め報告（青木さん）
 - ・秋の連盟戦、34 年ぶりの優勝
 - ・卒業生(新 OB)は 5 名（59 期）
 - ・就活については、OB 訪問を始めており、既に 40 人程度の OB と連絡を取っている
3. ANW について（齋藤さん）
 - ・2019 年後半は、9 月東海・岐阜城、11 月関西・京都、12 月北九州・九州地区で実施し、計 38 名が参加
 - ・北海道、東北地区の人が減ったため、ここ数年開催できていない
 - ・北陸も開催できていないが、聖火ランナーに 2 名(野原さん、立原さん)が選出されたので、甲信越の聖火ランナーを応援する会を立ち上げる
4. SO について（真壁さん）
 - ・活動に対して常に人手が不足気味、機会があればぜひお手伝いをお願いします
 - ・10 月 16 日(金)、京王ホールにてチャリティーコンサートが開催されるので、お時間ある方はぜひご参加を
5. 年会費状況報告（荒木さん）
 - ・収納率は 8 割超え
6. 楽籠大会の日程確定について（腰高さん）
 - ・現状、年に 2 回開催が難しいこともあり、年 1 回を確実に開催したい。
 - ・早めに日程を確定、案内し、参加者を増やすために、本年度は 9 月 26 日(土)に開催する。
 - ・旗の台、根岸、新子安、駒場東大前、等体育館の確保に努める

【審議事項】

1. 3/14 総会 議事、式次第について（腰高さん）⇒「承認」
 - ・今年還暦を迎える代は 22 期、卒業生の代(新 OB)は 59 期
2. 過去文献のアーカイブについて（竹内さん）
 - ・本日起案の予算案の中には組み込んでいない
 - ・注目をホームページに載せるだけならば 5 万円くらいでできるが、全文献やる場合は 800 万円かかる
 - ・積上げた財産をどうするのか？ぜひ揉んで欲しい
⇒様々な意見交換がされ、おおむね以下のようなコンセンサスを得た。

- ・過去文献を劣化する紙でなく「残したい」のか、後世に何かを「伝えたい」のかでいうと、それは「伝えたい」ということ
- ・提示された全てのものをデジタル化するのではなく、「何を」について検討するPTをつくる。
- ・2020年予算案に項目を立て、着手する金額を計上する方向で、総会に諮る。

3. 2019年度決算案について（荒木さん）

- ・2019年度末にて繰越金が600万円を超える見込み、単年度収支は約16万円の黒字
- ・その他、実績についての説明
⇒現役優勝お祝い金、慰労金13万円を含めて承認され、総会に諮ることになった。

4. 2020年予算案について（荒木さん）

- ・案の前提として、前回（2019年7月）幹事会で議論のあった、高齢OBの年会費免除については、主に以下の理由で対応せず、OB会員全員からの納入を前提としている。
 - OB会収支の現時点のバランスや、現役支援や名簿・会報のことは年齢によらず全員が分担、享受する
 - かつて川先が、生活と私費を楽籠に投じた役割をOB会が担っている、という考え
 - 将来の収支シミュレーションにおいても、影響は大きい
⇒主旨は了解、それを前提とした予算案を認める。
- ・予算案については、収入の見込みは立っているが、若干の支出超過になっている
- ・銀杯作成費によって若干の支出過多（今回より10個単位で購入する要あり～新OBは5人予定）
- ・プチロー大会や東京海上日動交流戦補助は、まとめて「バスケ交歓試合補助」として予算組み
- ・アーカイブを具体的に動かすために、項目を取り、暫定予算を計上する方向で。
⇒承認され、総会に諮ることになった。

以 上